

印刷する

画面を閉じる

2015年度 シラバス情報表示画面 (R42117)

■科目名	■教員名
テーマゼミ (2単位) [LAWP290]	吉良 貴之(キラ タカユキ)

科目名の後ろに水色で表示しているものは科目ナンバリングです

■開講期 前期

■テーマ

法哲学入門——「正義」とは何かを考えよう

■授業概要

このゼミでは、「法哲学」の現代的な問題について扱います。法哲学といつとなんだか難しそう、哲学とかよくわからないしー、と思われるかもしれませんが、心配はいりません。社会的な問題について「ちょっと変わった角度から考えて頭を柔らかくすること」、それがそのまま法哲学です（雰囲気をつかみたい人は、このまとめページをご覧ください：

<http://togetter.com/li/735187> ……楽しそうでしょ?）。

扱うテーマとしては、最先端の科学技術が「法」に与える影響などをまずは考えています（エネルギー問題、生殖医療と家族のあり方、科学研究の倫理、などなど）。もちろん、それ以外にも、参加者の希望に合わせて柔軟にテーマ設定したいと思います。これまで扱ったことのあるテーマとしては、動物の権利論、戦争論、改憲問題、スポーツ倫理、宗教と法の関係、死刑存廃問題などがあります。こういった具体的な問題から出発して、「法とは何か」「正義とは何か」という根本的な思考につながっていく面白さを味わってほしいと思っています。

進め方としては、毎回、課題文献を指定し、担当者にそのまとめと問題提起を最初にしてもらいます。その後、全員でディスカッションして考えを深めます。なお、履修にあたっては、具体的な法律や裁判例など、特定の知識は前提としません。また、講義「法哲学」「法思想史」を履修していなくてもまったく問題ありません。

【追記】

最近出たこんな本とか面白そうかも、と思っています。

ジュリアン・バジーニ『ビッグクエスチョンズ 倫理』（ディスカヴァー・トゥエンティワン、2015年3月）

<http://www.d21.co.jp/shop/ebookp9784799316559>

■到達目標

- 1) 人文・社会科学にまたがる各種の文献を丁寧に読めるようになること。
- 2) 課題文献を適切に要約し、自分なりの問題意識につなげること。
- 3) 他の参加者との意見交換を通じ、生産的な「対話」方法を身に付けること。
- 4) レポートの基本的な書き方を身に付けること。

■授業計画・内容

回数	内容	
1回目	講義内容	イントロダクション： このゼミの内容説明や自己紹介を行った後、みなさんの関心のあるテーマを聞いて、今後のゼミの進め方を決めます。
	準備学習の内容など	法・政治・倫理にかかわる社会問題について、深く考えてみたいと思うテーマ（または文献）を考えておいてください。特に「法哲学」に限定する必要はありません。

2回目	<p>講義内容 文献購読とディスカッション (1): 担当教員が用意し、レジュメの作り方、レポートの書き方、ディスカッションの仕方などをお話します。</p> <p>準備学習の内容など 課題文献 (第1回に指定) を読み、自分なりの問題意識をもっておくこと。</p>
3回目	<p>講義内容 文献購読とディスカッション (2): 課題文献を決め、ゼミ参加者にレジュメを作ってもらい、内容のまとめと問題提起 (だいたい30分程度) を行ってもらいます。それをもとに全員でディスカッションを行います。以降、基本的に毎回、同じように進めます。</p> <p>準備学習の内容など 課題文献を読み、自分なりの問題意識をもっておくこと。以下すべて同様。</p>
4回目	<p>講義内容 文献購読とディスカッション (3)</p> <p>準備学習の内容など 課題文献を読み、自分なりの問題意識をもっておくこと。</p>
5回目	<p>講義内容 文献購読とディスカッション (4)</p> <p>準備学習の内容など 課題文献を読み、自分なりの問題意識をもっておくこと。</p>
6回目	<p>講義内容 文献購読とディスカッション (5)</p> <p>準備学習の内容など 課題文献を読み、自分なりの問題意識をもっておくこと。</p>
7回目	<p>講義内容 文献購読とディスカッション (6)</p> <p>準備学習の内容など 課題文献を読み、自分なりの問題意識をもっておくこと。</p>
8回目	<p>講義内容 文献購読とディスカッション (7)</p> <p>準備学習の内容など 課題文献を読み、自分なりの問題意識をもっておくこと。</p>
9回目	<p>講義内容 文献購読とディスカッション (8)</p> <p>準備学習の内容など 課題文献を読み、自分なりの問題意識をもっておくこと。</p>
10回目	<p>講義内容 文献購読とディスカッション (9)</p> <p>準備学習の内容など 課題文献を読み、自分なりの問題意識をもっておくこと。</p>
11回目	<p>講義内容 文献購読とディスカッション (10)</p> <p>準備学習の内容など 課題文献を読み、自分なりの問題意識をもっておくこと。</p>
12回目	<p>講義内容 文献購読とディスカッション (11)</p> <p>準備学習の内容など 課題文献を読み、自分なりの問題意識をもっておくこと。</p>
13回目	<p>講義内容 文献購読とディスカッション (12)</p> <p>準備学習の内容など 課題文献を読み、自分なりの問題意識をもっておくこと。</p>
14回目	<p>講義内容 文献購読とディスカッション (13)</p> <p>準備学習の内容など 課題文献を読み、自分なりの問題意識をもっておくこと。</p>

15回目	講義内容	文献購読とディスカッション (14)
	準備学習の内容など	課題文献を読み、自分なりの問題意識をもっておくこと。

■評価・試験方法

種別	割合	評価基準
定期試験		
中間試験		
レポート	50%	毎回のゼミをふまえたうえで、A4で数枚程度のレポートを完成させてもらいます。
実技・作品等		
日常点（小テスト・課題等）	50%	課題文献の要約と問題提起を担当してもらいます。15回のうち1～2回です。人数が多い場合はグループでの発表も検討します。
その他		

■評価方法： ABC評価

■教科書

1. JST-RISTEX『法と科学のハンドブック』（2012年）

『法と科学のハンドブック』は非売品のため、初回に全員に配布します。それ以外の課題文献については、ゼミ中に適宜、指示します。

■参考書

1. 中山竜一『二十世紀の法思想』（岩波書店、2002年）
2. マイケル・サンデル『これからの「正義」の話をしよう』（ハヤカワ・ノンフィクション文庫、2011年）

「法哲学」の基本的な知識を身につけておきたい方向けです。

■履修上のアドバイス

質問などがあればいつでも気軽にどうぞ。メールなどでも受け付けます。ゼミでの発表やディスカッションの仕方などについては、まだ慣れていないでしょうから、丁寧に指導します。

※毎週の授業に必要な学習時間（小テスト、レポート、課題など）:4時間

■アクティブラーニング実施の有無：

なし

■授業で使用する言語：

日本語

■担当者のプロフィール

「法哲学」「法思想史」担当です。ホームページを作っていますので、詳しくはそちらをご覧ください。ツイッターやフェイスブックなど、各種SNSもご関心があればどうぞ。

<http://jj57010.web.fc2.com>

■定員ならびに履修者選抜方法

特に制限しません。社会問題について哲学的・原理的に考えてみたい学生であればどなたでも歓迎します。たとえば、以下のような学生にとっては特におすすめです。

- (1) 将来の志望は決めているが、基礎的な思考力を身につけ、視野を広げたい者。
- (2) 将来の志望に迷っているため、幅広くいろいろ考えてみたい者。
- (3) とにかく議論に参加して熱く語ってみたい者。

印刷する

画面を閉じる

直リンクURL : <https://plas.soka.ac.jp/csp/plas/slb.csp?nd=2015&sm=1&mk=11&lc=71706>